

専門演習（ゼミナール）の退室の手続きについて

3・4年次に履修できる専門演習（ゼミナール）について、途中で退室を希望する場合は、政治経済学部事務室（駿河台）に「ゼミナール退室およびコース登録願」を提出する必要があります。この退室手続きを行わなかった場合、専門演習（卒業論文）を修得しなければ卒業できません。

また、途中で退室する場合は、応用科目を分類した以下のいずれかのコースを選択する必要があります。選択したコースが定める科目を20単位以上修得することが、新たな卒業要件となりますので、現在の自身の履修状況及び成績を必ずよく確認した上で、退室を検討してください。

※コース科目の20単位は、退室前に修得した単位も含まれます。

コース別応用科目

A 政治学・社会学コース	B 経済学コース	C 地域行政学コース	D 国際地域・文化論コース
a 政治理論系パッケージ	d 国際経済系パッケージ	g 行財政系パッケージ	j 日本・アジア文化系パッケージ
自治体経営論, 国家論, 現代国家分析, [2017年度以前入学者: 都市空間政策, 都市行政政策], [2018年度以降入学者: 都市政策, 都市行政], 政治過程論, 政治体制論, 政治体制変動論, 比較政治論, 比較政治論(東アジア), 計量政治学, 政治行動論, 公共政策学	国際経済学, 経済地理学, 開発経済学, 国際経済政策, 国際金融論, 日本・アジア地域論 I~IV, 日本アジア文化論 I~IV, ヨーロッパ地域論 I~V, ヨーロッパ文化論 I~V, アメリカ地域論 I~IV, アメリカ文化論 I~IV, 連環地域文化論 I~IV	自治体経営論, 行政法, 地域行政学, 行政情報論, 公共政策学, 公会計学, [2017年度以前入学者: 都市空間政策, 都市行政政策], [2018年度以降入学者: 都市政策, 都市行政], 地方財政論, 社会保障論, 地域開発論, 環境経済学, 地域政策論 I~X, 身体文化論, スポーツ文化論	日本・アジア地域論 I~IV, 日本アジア文化論 I~IV, 連環地域文化論 I~IV, 身体文化論, スポーツ文化論, 表象文化論, 比較政治論(東アジア), アジア政治論, 民俗学, 日本民俗社会論, 民族学, 社会人類学, 異文化ビジネス論概論, 実践異文化ビジネス論
b 国際政治系パッケージ	e 財政・金融系パッケージ	h 地域コミュニティ系パッケージ	k ヨーロッパ文化系パッケージ
国際政治学, 国際関係史, アジア政治論, アメリカ政治論, ラテンアメリカ政治論, アフリカ政治論, ロシア政治論, 東欧政治論, 国際法, 比較政治論, 比較政治論(東アジア), 日本・アジア地域論 I~IV, 日本アジア文化論 I~IV, ヨーロッパ地域論 I~V, ヨーロッパ文化論 I~V, アメリカ地域論 I~IV, アメリカ文化論 I~IV, 連環地域文化論 I~IV	現代日本経済論, 金融論, 金融政策, 地方財政論, 財政政策, 財政学, 国際金融論	社会福祉政策論, コミュニティ福祉論, 地域開発論, 地域情報論, 環境経済学, 地域政策論 I~X, 身体文化論, スポーツ文化論	ヨーロッパ地域論 I~V, ヨーロッパ文化論 I~V, 連環地域文化論 I~IV, 身体文化論, スポーツ文化論, 表象文化論, 国際政治学, 国際関係史, アフリカ政治論, ロシア政治論, 東欧政治論, 比較政治論, 国際経済学, 異文化ビジネス論概論, 実践異文化ビジネス論
c 社会学系パッケージ	f 総合経済政策系パッケージ	i 産業社会系パッケージ	l アメリカ文化系パッケージ
現代社会学, 現代社会心理学, 産業心理学, 消費心理学, 社会調査法, フィールドワーク論, 比較社会学, 民俗学, 日本民俗社会論, 民族学, 社会人類学, 地域情報論	現代経済政策, 食料経済学, 環境経済学, 産業組織論, 中小企業論, 地域産業論, 人口学, 労働経済学, 社会保障論, 協同組合学, 地域開発論, 地域振興論	地域産業論, 中小企業論, 協同組合学, 食料経済学, 異文化ビジネス論概論, 実践異文化ビジネス論, 労働経済学, 地域振興論, 地域政策論 I~X	アメリカ地域論 I~IV, アメリカ文化論 I~IV, 連環地域文化論 I~IV, 身体文化論, スポーツ文化論, 表象文化論, 国際政治学, アメリカ政治論, ラテンアメリカ政治論, 比較政治論, 国際経済学, 異文化ビジネス論概論, 実践異文化ビジネス論

【専門演習（外国書研究・原典研究）の確認事項】

- ・「専門演習（外国書研究・原典研究）I・II」の単位をすでに修得している場合
→「原典講読 I・II」は、修得する必要はありません。
- ・「専門演習（外国書研究・原典研究）I・II」の単位を修得していない場合
→「原典講読 I・II」を修得する必要があります。必ず履修登録してください。

【退室手続】

1. 退室を希望していることを、専門演習（ゼミナール）担当教員に報告する。

退室するには、担当教員の承諾が必要となります。必ず学生本人から担当教員へ伝えるようにしてください。

2. 「ゼミナール退室およびコース登録願」を作成し、担当教員から署名・捺印（サイン・押印）をもらう。

退室するゼミナールと、登録するコースを記入してください。担当教員の署名・捺印（サイン・押印）は必ず学生本人から先生へ依頼するようにしてください。

※「ゼミナール退室およびコース登録願」は、大学ホームページからダウンロード又は事務室窓口にてお渡しができます。

3. 政治経済学部事務室（駿河台）窓口へ提出する。

必要事項がすべて記入（押印含む）されていることを確認の上、窓口開室時間内に提出してください。

【注意事項】

退室を決断する前に、下記内容について必ず確認してください。

・「専門演習（外国書研究・原典研究）」の単位はすでに修得していますか？

→修得していない場合、「原典講読Ⅰ・Ⅱ」を修得する必要があります。卒業までに修得できるよう、必ず履修登録してください。

例：3年次に「専門演習（外国書研究・原典研究）Ⅰ」を修得し、「専門演習（外国書研究・原典研究）Ⅱ」を修得出来なかった場合

→4年次に「原典講読Ⅰ又はⅡ」（どちらでも可）を履修し、修得しなければならない。

・選択したコースの科目を卒業までに20単位修得できますか？

→選択したコースが定める科目を卒業までに20単位修得できなければ、卒業できなくなってしまうため、必ず確認してください。

※シラバス（履修の手引）P29～30に詳細が記載されています。必ず確認してください。

【問い合わせ先】

政治経済学部事務室（駿河台）：03-3296-4172

以上